

令和3年12月

小学6年生 保護者 様

多治見市教育研究所

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果等について

小学6年生と中学3年生を対象としたみだしの調査が、5月27日に実施されました。現在、各学校で調査結果の分析・検証を進めており、今後、自校の課題を踏まえた指導の改善に一層取り組んでいくところです。

つきましては、多治見市全体の調査結果等をお知らせしますので、お子さんの学習習慣や生活習慣を見つめ直す際の参考として活用いただきますようお願いいたします。

1 学力調査の結果より

調査を行った教科「国語、算数」の平均正答率については、国・県の値とほぼ同等です。

また、各調査結果から今後付けたい力として、以下のことを挙げるすることができます。

【国語】文中における主語と述語や修飾と被修飾との関係を捉えること
漢字を文の中で正しく使うことができること

【算数】日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、必要な数量やその関係を捉え
数学的に表現・処理することができること

ご家庭では、学校から配付される個人票を参考に、「できた問題とできなかった問題」また「なぜ間違えたか」などを具体的に話し合ってみてください。

また、明らかになった課題に対して今後努力することや気を付けていくことを、お子さん自身が決めるようなふり返りとなるようお声がけをお願いします。

2 質問紙調査の結果より

質問紙調査において国や県の傾向とは異なった結果（上下に1ポイント以上の差があった問い）から主なものをまとめると、以下のようなことがいえます。

<学習習慣>

- ・一日の家庭における学習時間は、国の結果とほぼ同等ですが、自分で計画を立てて勉強することは国を上回っています。
- ・勉強が大切だと思っていますが、自分の考えを表現して仲間と話し合うことについて、国と県をやや下回っています。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大で休校していた期間、国の結果と同様に勉強に不安を感じていましたが、その中でも計画的に学習にしていた傾向がありました。

<生活習慣>

- ・将来の夢や目標をもっている割合は、国・県をやや下回っていますが、自分によいところがあると思っている児童の割合は全国の結果をやや上回っています。
- ・地域や社会への関心をもっている児童の割合は全国の結果とやや下回っていますが、地域行事へ参加は、国の結果を上回っています。

本調査からも、家庭や学校での学習習慣・生活習慣が学力にも大きく関わっていることは明らかであり、『習慣』は、意識して努力を続けることにより必ず改善できます。

家庭と学校が協力し、子どもが望ましい習慣を身に付け、将来の自立や個性豊かな自己実現に向かっていくことができるよう、今後もお理解とご協力をお願いいたします。